

シロ WB

(ブラザー：無黄変シロ用前処理剤／ローラー・機械式スプレー・ポンプ式スプレー用)

シロ生地製品に対するインクジェットの問題点に対応した前処理剤です。

シロ生地の製品に、CMYKでカラー出力した場合、次のような問題点があります。

- ・発色が弱い（同じデータで、濃色出力と比較した場合や写真データなど）
- ・ラバー感が弱く、風合いが柔らかい
- ・線際のにじみや、細線表現ができない
- ・洗濯で生地の毛羽が表面に出てきて、プリント劣化が目立つ

このような問題点の対策として、シロ製品でも、濃色用の前処理後、濃色用プリントを行います、
⇒濃色用前処理剤は耐光（太陽光）で経時黄変します

黄変対策として、前処理剤が残留しないようにプリント仕上がり後、洗い乾燥を行います。手間や時間がかかりますし、仕上がりにウオッシュ感が出てしまいます。

シロ WB 前処理剤の特徴と問題点

- ・耐光（太陽光）で経時黄変しません
- ・CMYKのカラー出力で綺麗に発色します
- ・ラバー感のような風合いが得られます
- ・洗濯による急激な劣化がありません
- ・濃色出力（シロインク使用）も可能ですが、データにより若干白っぽく仕上がります（問題点）

使 用：前処理剤：水を1：1（製品により1：2でも可）で希釈して下さい

塗布方法：製品のプリント部分にスプレーし、ローラー（ゴム・シリコン）で表面をならして下さい
（通常の使用に準ずる）ローラーも同じ

⇒塗布量は必ず計測して下さい。A4サイズあたり15～25ccの間で塗布して下さい

乾燥方法：プレス乾燥 条件：150℃×60秒／プレス圧、高め（MAX）⇒プリント表面が乾く事
：熱乾燥機（トンネル乾燥機）条件：150℃×90秒（プリント表面が乾く事）⇒プレス
（軽く霧吹きなどで湿潤させプレスし、毛羽を抑えてプリントして下さい）

出力方法：CMYKのみは、通常出力条件

シロインク使用（濃色モード）条件 ハイライト3／マスク2 基準

乾燥方法：プレス乾燥（150℃×60秒以上／プレス圧、高め）⇒プリント表面が乾く事
：熱乾燥機（トンネル乾燥機）＋プレス乾燥でも構いません

必ず、本番前に試験確認後、適切な条件を確定し量産を進めて下さい。